

学校訪問シリーズ 107

大分市立野津原中学校から学ぶ  
学校経営から学ぶ

学校の教育目標「知性に富み、感性豊かで、たくましく生きる力をもった生徒の育成」を達成するため、「あいさつ」「自問清掃」「俳句」を中心に、きめ細やかな実践を継続的にを行っています。

**特色ある学校づくり**

- あいさつ**  
D(誰にでも)J(自分から)O(大きな声で)S(さわやかなE(笑顔で)お互いにあいさつが飛び交う学校です。
- 自問清掃**  
毎日の自問清掃を通して、①意志力、②創造力、③情懷を磨く取り組みを実践する学校です。
- 俳句**  
野中の伝統「梅檀(せんだん)の会」日頃感じていることや思いを句に読むことで豊かな感性を育てる学校です。

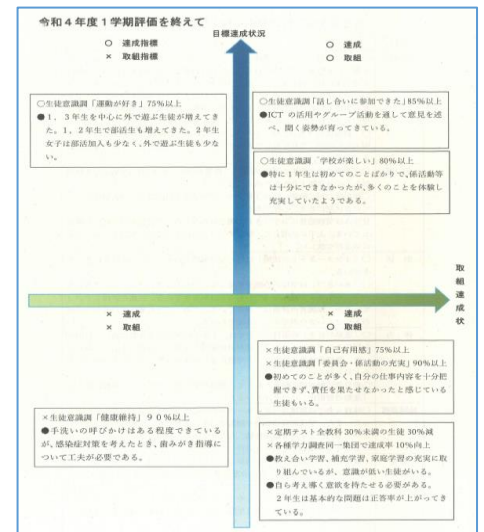
また、それぞれの取組については、縦軸に目標達成、横軸に取組達成とした(右の)表に示すことで、成果と課題の要因分析が明確になり、次への取組の目標値の設定や取組の焦点化に生かされ、効果的な実践となっています。

今後は、協議の際に出された、「協働する力」「コミュニケーション能力」等、学校全体で育成を目指す資質・能力を定めることで、教職員や生徒達が常に意識するようになり、さらに、地域との連携においても、そのような力を育成するための企画を行うことで、「目標協働達成」を目指した行事へと発展すると思いました。

授業から学ぶ

3年理科では、実際の影の写真をもとにタブレットで自分の考えをまとめ、その後交流するという新たな授業の在り方をみる事ができました。1年社会では、動画を見ながらメモを取る生徒がいるなど課題解決に対する意欲を感じました。2年英語はリズムとテンポのある授業で、生徒達が意欲的に参加し、共に高め合っていました。

なお、「学習の5つの約束」については、既にできている項目もあると感じたので、今の授業の課題に応じたものに改定してみてもいいでしょうか。その際は、教師だけでなく、子ども達や野津原小学校の子どもとも連携することで、こども達の当事者意識が高まり、児童・生徒と教師が共に授業を創る実践が行われると感じました。



NO.570 2022年12月 大分市立野津原中学校

歴史を築く

これまで学んできたことを生かしながら、新たな歴史をつくる。そのために、今、全力で学ぶのだ。



NO.570 2022年12月 大分市立野津原中学校

英知を磨く

タブレットは、検索したり、自分の意見をまとめたり、友達の考えを知るための道具。それを使って、高め合うのは私たち。



NO.570 2022年12月 大分市立野津原中学校

友誼を誓う

自分の考えを共感的に聴いてくれる友達がいるから素直になれる。そして、共に成長する。